

石炭産業の長期安定を

緊急に行政指導行なえ

炭労、危機打開で対政府要求

要求は、次の通り。

(一)三菱大夕張に対し、美濃閉山を撤回する行政指導を行なえ。

- (2)美濃鉱に対し、政府調査団を派遣し、現地の声を聞け。
(3)同鉱への、必要な資金援助措置を講ずること。
(4)災害口実閉山防止のため、朝日鉱に対する、具体的な救済措置を講ずること。

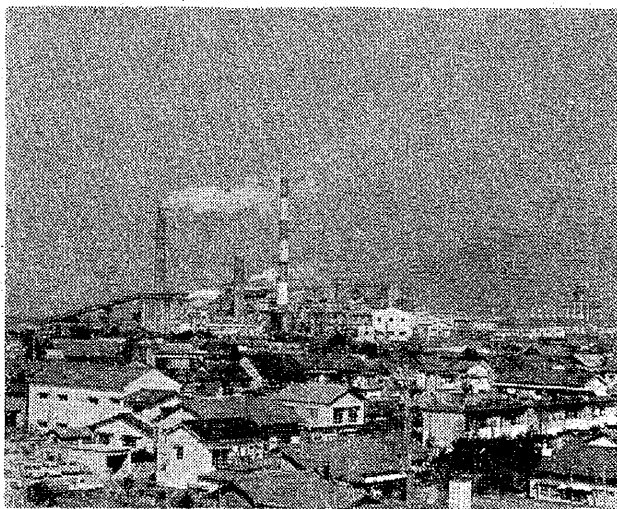
十条製紙でも

合理化攻撃が

政府・資本の打ち続く「閉山」「企業縮小」などの合理化攻撃を受け、現在わが国の石炭産業は揺らぎ続けている。

この恐るべき危機の中で、炭労は政府に対し、昨年の十月までに「第五次石炭政策」の早急な確立をはかるよう要求したにもかかわらず、四十七年度の予算案はついに炭労要求をふみにじり、石炭産業の危機に積極的な何の対策もとらなかった。

だからといって、打ち続く閉山を見通すことができない。炭労は去る三日田中角栄通産相に対し「事態の深刻さを自覚し、当面の危機打開のために責任ある処置を講ずるよう要求した。



十条八代工場も、合理化と闘っている

背景の諸闘争と結合し

CO闘争へ決起を

対立はどこで

主張

政府は、三月一日より、それまで経過観察患者として治療を継続していた、大十四名(三十八年十一月九日の大爆発によるCO患者)のうち二十三名を「これ以上治療しても治らない」という理由で、その治療と生活補償を打ち切った。

この打ち切りにより、二十三名のCO患者の一人は、CO中毒の症状と後遺症とに、治療と生活の両面から苦しめられることになり、また、社会復帰訓練を実施する

政府は、三月一日より、それまで経過観察患者として治療を継続していた、大十四名(三十八年十一月九日の大爆発によるCO患者)のうち二十三名を「これ以上治療しても治らない」という理由で、その治療と生活補償を打ち切った。

組合は、経過観察患者の治療費を継続していた、大十四名(三十八年十一月九日の大爆発によるCO患者)のうち二十三名を「これ以上治療しても治らない」という理由で、その治療と生活補償を打ち切った。

組合は、経過観察患者の治療費を継続していた、大十四名(三十八年十一月九日の大爆発によるCO患者)のうち二十三名を「これ以上治療しても治らない」という理由で、その治療と生活補償を打ち切った。

三池の火受け継ぎ 職場で生き生きと

まなぶ全国協議会

会長 斉藤

第九回「三池にまなぶ会」全国集会に際しては、心からの受け入れ、交流、大変ありがたうございました。

三池三日という短い期間ではありましたが、真に働くものとしての連帯にえられた交流の中で数多くの仲間が結集することができたことを厚くお礼申し上げます。

大きな人だかりがあります。組織づくりは、まず家庭の中から、というのには、私たちが異口同音に抱いた決意でもあります。

あと1周走る覚悟

まなぶ、の皆さんにこたえる

三川指導部 藤村幸生

地域にはうそのごちやうどにも、こたえてやれませんでした。

私も、その報告をする立場にあるのですが、何分の一しか報告していません。では、どうやって、全部をみんなに伝えるか。

COカンパ

これはありがたい

聞けば、毎日受ける賞金の千七百九十九円のうち、一円硬貨の四円をためていたのが約半年でこれだけだった。

豆ニユース

四次防弾先取り、立川基地へ埃き打ち移動、沖繩へもり輸送……自衛隊相次ぎ暴走。

新幹線岡山まで伸びる。「ひかり西へ」……運賃は値上げ「ひかり西へ」……運賃は値上げ